




瀬戸商工会議所

せと・しごと塾

 瀬戸信用金庫

第15期総括

 JFC 日本政策金融公庫


NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY
名古屋学院大学



AICHI GUARANTEE
愛知県信用保証協会

せと・しごと塾は、瀬戸市が運営する地域の創業支援事業です。瀬戸市役所・瀬戸商工会議所・瀬戸信用金庫をはじめ、公的機関、大学、地元企業、卒業生等が一体となって塾生のみなさまの創業を継続的に支援しています。



目次

1. せと・しごと塾の目的について
2. せと・しごと塾のカリキュラム
3. 創業サポート講師陣
4. 個別相談について
5. 卒塾生の動向(塾の実績)
6. 今後の課題
7. 最後に
8. 参考情報



1. せと・しごと塾の目的について

～地域経済の発展のために～



「起業するにはどんなスキルや許可申請が必要か、相談窓口がどこか、糸口が見つかりませんでした」（卒塾生アンケートより）

せと・しごと塾は、平成20年度の開講以来15期の間、次のような理念のもと、運営されています。

地域のニーズや課題をビジネスとして継続的に取り組む「地域ビジネス」の創業を目指す市民のみなさんに、地域ビジネスを創業するために必要となる知識等を学べる機会を提供することで、就業の1つである起業が創出される環境づくりを図り、地域経済の発展につなげること

- ①「地域のニーズや課題をビジネスとして」・・・地元の問題を探し、解決方法を考える
- ②「継続的に取り組む」・・・持続するための思い、継続させる力を養成する
- ③「知識等を学べる機会を提供」・・・カリキュラム+個別相談で、その機会を提供する
- ④「起業が創出される環境づくり」・・・課題に対して前向きな行動を生む風土にする

◆せと・しごと塾の3つのキーワード

自立

- ・安易に他者依存しない
- ・自ら積極的に考え、行動する
- ・課題解決を主体的に考える

挑戦

- ・新しい挑戦をする
- ・苦手なことに敢えて取り組む
- ・与えられた環境の中でベストを尽くす

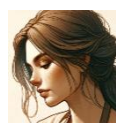
貢献

- ・周囲への貢献、社会への貢献
- ・他の塾生への貢献
- ・お客様への貢献

せと・しごと塾においては、起業を志す一人ひとりが**主体的に**課題を発見し、その解決に向けて**行動**し、その結果地域貢献にもつながるという理想を追い求めています。第15期も引き続き上記の理念を実現するために起業家の「**自立**」「**挑戦**」「**貢献**（地域・周囲へ）」を強く意識して、塾の運営をしてきました。このような意識を持つ起業家を多く輩出すれば、活気のある街が形成され则认为ます。

2. せと・しごと塾のカリキュラム

～地域の中で、集団で学び合う意味～



「とても贅沢な時間でした。一人で事業をしていると、目先のことに追われて終わってしまいがちですが、立ち止まり、考えを深め、視野を広げる時間を持つことができました」（卒塾生アンケートより）

(1) バリエティに富んだカリキュラム

塾では、起業家を支援するために、個別相談に加えて、バリエティに富んだカリキュラムを用意しています。第15期に実施した内容は、以下の通りです。

<前半>

日程	曜日	時 間		講 師	内 容	
7月5日	水	10:00	～	10:30	開講式	
		10:45	～	11:15	(有)起業経営研究所 代表取締役 小坂英雄	名刺交換のコツ
		11:30	～	12:00	事務局（瀬戸市、瀬戸商工会議 所、瀬戸信用金庫）	オリエンテーション
		13:00	～	15:00	さわ経営研究室 代表 澤 芳美	起業家の心構え
7月10日	月	10:00	～	11:00	名古屋学院大学 現代社会学科教授 小林甲一	せと・しごと塾について
		12:00	～	15:00	(有)起業経営研究所 代表取締役 小坂英雄	創業に向けて 起業家スキルアップ講座
7月20日	木	10:00	～	15:00	JUNO 代表 柴田朋子	プロモーション、販売戦略
7月27日	木	13:00	～	15:30	日本政策金融公庫 愛知県信用保証協会	事業計画作成のポイント
8月3日	木	10:00	～	12:00	(有)起業経営研究所 代表取締役 小坂英雄	プレゼンテーション講座
		13:00	～	16:00	(株)パーソナルリング 代表取締役 池戸陽平	プレゼンテーション講座
8月10日	木	10:00	～	12:00	バランスボールインストラクター 小出暁子（12期生）	先輩起業家の話①
8月18日	金	13:00	～	16:00	税理士 石川一志 （東海税理士会尾張瀬戸支部）	開業手続き、税務、経理知識
8月22日	火	10:00	～	15:00	タグチ！ワークス 代表 田口相（2期生） キャラバンサライ 代表 林かなこ（2期生）	S N S 講座
8月31日	木	11:00	～	14:30	事業概要発表会	

前半は、創業のアウトラインをつかむためのメニューです。講師陣と事務局が塾生のみなさまを強力にサポートします。グループワークもあり、お互いに懇親を深めていただきます。



(カリキュラム続き)



「グループワークで他業種の方からもたくさん意見をいただくことができて、とてもとても良い刺激になりました。」(卒業生アンケートより)

<後半>

日程	曜日	時間			講師	内容
9月5日	火	10:00	～	16:00	瀬戸信用金庫 (中小企業診断士)	事業計画作成知識① 経営理念・事業領域・マーケティング
9月14日	木					事業計画作成知識② 資金計画、損益計画 グループワーク①
9月19日	火					グループワーク②
9月27日	水					グループワーク③
10月5日	木					グループワーク④ 小坂塾長講評(午前)
10月12日	木	13:00	～	16:00	ひねもすデザインルーム 代表 石川さち江	販促ツール作り方講座
10月26日	木	10:00	～	12:00	Nijihiro Lamp 代表 山田貴子(3期生)	先輩起業家の話②
11月2日	木	10:00	～	12:00	瀬戸商工会議所	税務・経理の実務講座
11月21日	火	10:00	～	16:00	事業計画発表会、卒業式	

後半から、事業概要発表会、グループワークが始まりました。座学で得た情報をアウトプットする場でもあります。グループワークの中でも、たびたびプレゼンテーションの場が用意されています。発表のための準備もすることになります。塾生のみなさんが互いに発表し合うことにより、自分の足りないこと、優れていることを発見できる機会にしています。他者の発表を聞くことにより、刺激を受けることはとても重要です。アンケートでも、グループワークが非常に有益であったと回答した方が多く見られました。

(2) 個人相談

年度内に個人相談日を42日(186時間)設定し、経営やキャリアプラン等に関して個別相談を受ける体制を整備しています(担当:小坂英雄・・・30日、150時間/柴田朋子・・・12日、36時間)。また、相談日のほか、瀬戸市役所、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫など、事務局に対し随時創業に関する相談が寄せられています。



(3) 講義風景

◆2023.7.5 開講式



市長の激励、塾長あいさつなど、しごと塾の初日です。

◆2023.7.5 名刺交換のコツ



初日に名刺交換の機会を設けて、お互いを知っていただきます。

◆2023.7.5 起業家の心構え



澤芳美先生による講座(座学)です。

◆2023.7.10 起業家スキルアップ講座



チーム名決め・45 分間のアイデア出しのワークなど

◆2023.7.27 事業計画作成のポイント



◆2023.8.3 プレゼンテーション講座



しごと塾では数多くの「プレゼンテーション」の場があります。

◆2023.8.10 先輩起業家の話①



バランスボールインストラクター 小出暁子さんの体験談

◆2023.10.26 先輩起業家の話②



Nijiuro Lamp 山田貴子さんの体験談

◆2023.8.31 事業概要発表会



事業計画の中間発表の場です。

◆2023.9～10月 グループワーク



グループワーク風景です。グループごとに塾外で自主的に集まっていらっしゃる風景も見られました。

◆2023.11.21 事業計画発表会



第15期の総仕上げとなる事業計画発表の場です。

◆2023.11.21 卒塾式



川本市長より卒塾証書の授与が行われました。

以上、せと・しごと塾の様子を写真でお届けしました。和気あいあいとしながらも、お互いに切磋琢磨して5か月を過ごしました。

3. 創業サポート講師陣(1)



「全部必要な講義でした。特に、グループワークが多かったのが良かったです。互いへの理解が深まり、違う角度から自分の事業に対する意見が聞けました。」(卒塾生アンケートより)

せと・しごと塾では、多彩なメンバーがチームを組んで塾生を支援しています。入塾審査の時点から支援方針を共有し、それぞれのメンバーが異なる手法で塾生を支援しています。このサポートチームの存在により、塾生それぞれの事業に対して、様々な観点でアドバイスすることを可能にしています。以下、第15期のサポートメンバーを紹介します(敬称略)。

(1) 事務局(瀬戸市地域振興部ものづくり商業振興課、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫)

瀬戸市は塾の運営全般を担当します。カリキュラムの運営、事務連絡に加え、塾生の相談のナビゲート役となっています。

瀬戸商工会議所は、税務・経理の実務講座を担当。卒塾後も塾生を支援。税務やIT活用などの各種セミナーや、税務・経営等の個別相談を行っており、スタートアップをスムーズにさせるための数多くの取り組みを行っています。最近では、小規模企業に人気の「小規模事業者持続化補助金」など、創業後に利用できる補助金申請に必要な事業計画の作成支援でも力を発揮しています。

瀬戸信用金庫は、事業概要発表会後の5回の「事業計画書作成」講座を担当。講座での事業計画作成グループワークを通じ、塾生のみなさんがお互いに打ち解け合います。

卒塾後も事業計画書の作成や資金調達面の相談に乗っています。卒塾生専用の融資制度も用意しています。



春園 航汰
瀬戸市



谷口 利仁
瀬戸商工会議所



牧田 勝成



中島 康介
瀬戸信用金庫

(2) 塾長(有限会社起業経営研究所 小坂 英雄)

個別相談と入塾時の名刺講座、起業家スキルアップ講座、グループワーク講評などを担当。個別相談は、カルテに残し事務局と共有しています。基本的にどのような相談でもお受けしています。「知識を与える」ことを主眼に置くのではなく、なるべく「行動を促す」ようにアドバイスをするよう心がけています。



(小坂 英雄)

創業サポート講師陣(2)



「具体的に数字の部分を考えられるようになった。また、塾生の皆さんの行動に触発されて、前向きな考えができるようになった。」(卒塾生アンケートより)

(3) 講師陣

- ①さわ経営研究室 代表 澤 芳美
「起業家の心構え」の講座を担当
- ②税理士法人ちゅうぶ税経 代表社員 石川 一志
「開業手続き、税務・経理知識」の講座を担当
- ③JUNO 代表 柴田 朋子
個別相談と「プロモーション、販売戦略」の講座を担当
- ④ひねもすデザインルーム 代表 石川さち江
「販促ツール作り方講座」を担当(卒塾生)
- ⑤株式会社パーソナルリング 代表取締役 池戸 陽平
「プレゼンテーション講座」を担当(卒塾生)
- ⑥タグチ!ワークス 代表 田口 相
「SNS講座」を担当(卒塾生)
- ⑦キャラバンサライ 代表 林 かなこ
「SNS講座」を担当(卒塾生)
- ⑧日本政策金融公庫
「事業計画作成のポイント」の講座を担当
- ⑨愛知県信用保証協会
「事業計画作成のポイント」の講座を担当



(澤 芳美)



(石川 一志)



(柴田 朋子)



(石川 さち江)



(田口 相)



(林 かなこ)



(池戸 陽平)



(小林 甲一)

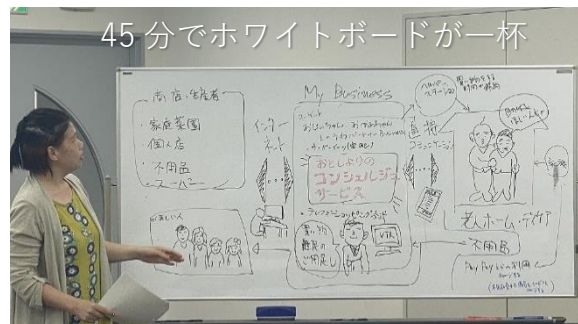
- (4) 顧問 (名古屋学院大学 現代社会学部 小林 甲一)
塾のプランニング、「せと・しごと塾について」講義を担当。

(5) 塾生

塾生同士の交流が塾を支え、「元気で明るい場所」を形成しています。入塾時は偶然集まって面識のないみなさまですが、半年弱肌を並べることにより、徐々に居心地の良い空間を作っていきます。アンケート結果を見ても、この偶然の出会いが財産となったとコメントする方が多く見られます。



(グループワークの様子)



(アイデア出しのワーク「セブンハット」の様子)

4. 個別相談について(1)



「春園さんをはじめ、多くの方にお世話いただき、大変感謝しております。これからも相談事が発生するかと思います。その際はよろしく願います。」(卒塾生アンケートより)

(1) 相談のスタンス

起業はあくまで手段です。起業を通じて何を実現したいかが重要です。お金を稼いで生活を作りたい人もいれば、趣味の延長線上で起業を考える人もいます。まずは塾生の悩みをじっくり聴き、それぞれの価値観を尊重してアドバイスをします。型にはめて「こうすべき」などと、私の考え方を押しつけないように意識しています。必ずしも起業することが良いとは限りません。

時には、あえて答えを出さずに、自分で行動してもらうことを促すようにしています。安易に答えを提供してしまうと依存心が育ってしまい、考えなくなってしまうます。状況にもよりますが、これは創業支援においては逆効果になりかねません。塾生が行動を促すような課題を多く出し、塾生は新しいことにチャレンジする機会が与えられます。新しいこと、できないことにまず挑戦しようという気持ちが大事です。課題をクリアしたときに、一歩前進したことを塾生自身が実感し、自信がつかます。そして次の挑戦へとつながっていきます。この成功体験の積み重ねが人を育て、瀬戸の「人づくり」につながると確信しています。

起業という側面で言えば、供給過剰の時代、商品・サービスの「売り」を持っていないと、事業を立ち上げても売上が得られません。「現在出来上がっているものをどのように世間に受け入れてもらうか」だけではいけません。事業構想を練り直し、頭を柔らかくすることが重要です。既に開業している事業者であれば、経営のイノベーションが必要です。お客様の方を向いて、現在のものをどれだけブラッシュアップしていくかで事業の継続性が決まります。



本当に久しぶりに卒塾式後の懇親会が開催されました。
卒塾生さんもたくさん参加されました。

5. 卒塾生の動向(塾の実績)

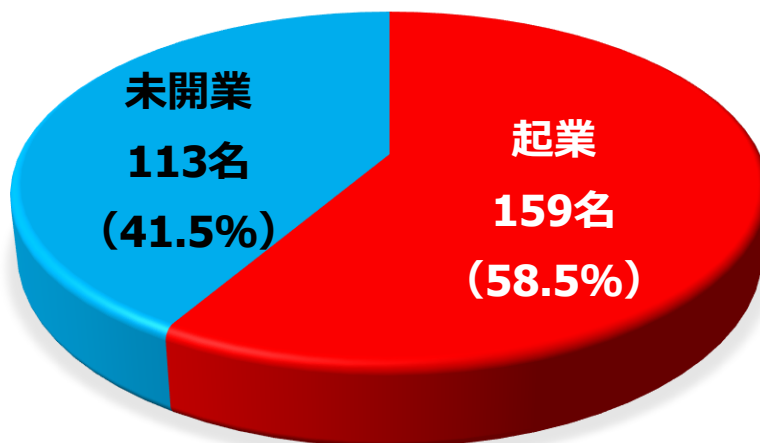
～数字で見るせと・しごと塾～

<第15期終了時のデータ>(2024年1月)

卒塾生 272名(男性88名、女性184名)

起業者 159名(男性58名、女性101名)

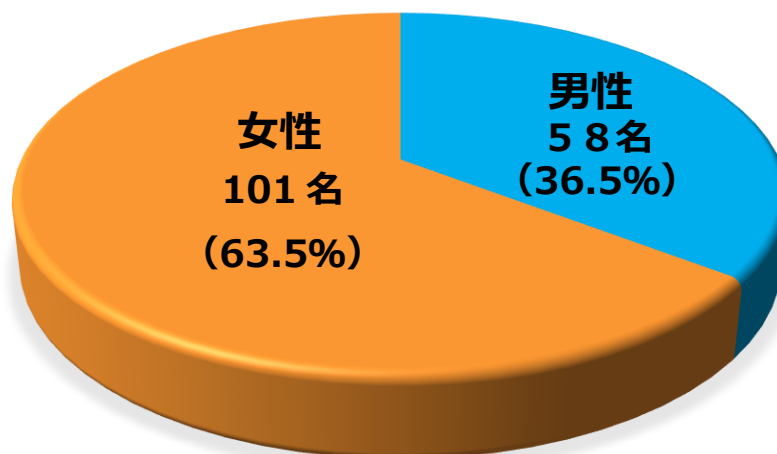
①起業割合



過半数が
起業済み

卒塾生272名のうち、起業した人は159名(58.5%)、未開業は113名(41.5%)です。

②起業者男女別割合



女性の割合が
3分の2

卒塾生のうち起業者については、女性が101名(63.5%)、男性が58名(36.5%)です。

<参考>全国の起業者(統計では「自営業主」)は526万人で、男性は391万人(起業者に占める割合は74.3%)、女性は135万人(同25.7%)となっており、男性が約4分の3となっています。

(2020年 総務省統計局「男女、従業上の地位・雇用形態別起業者数及び割合」より)

5. 卒塾生の動向(塾の実績)



「瀬戸がますます好きになりました。瀬戸の作家として何ができるのかを深めていく、ということも活動の太い軸の一つになりました。」

(卒塾生アンケートより)

第15期は19名が卒塾、起業して間もない方、現在本格的に起業準備を進めている方、構想を練り直している方など、それぞれの道に進んでいます。

また、卒塾生も含めて、塾全体としては次のような成果がありました。

- (1) 温かいコミュニティの形成・・・塾生間の応援・励まし、コラボイベントの開催など
- (2) プレゼン効果・・・自分に自信を持つための準備、表現力の向上
- (3) グループワーク・・・塾生のコミュニケーションを深める大きな効果あり
- (4) 事務局間の連携・・・創業に関する問い合わせに対するアクションや卒塾後の支援体制も充実
- (5) 外部セミナー積極参加・・・商工会議所等で情報収集を積極的にするよう促しています
- (6) 行政に対する考えの変化・・・事務局に対し、感謝の言葉をたくさんいただきました
- (7) 開業者・・・卒塾272名、うち開業者 159名(1～15期累計、入塾時開業者含む)
- (8) 多くのマスコミ取材・・・中日新聞、グリーンシティケーブルテレビ、Radio SANQ 等
- (9) 塾生間の刺激・・・他者の挑戦に刺激を受けるという場面が多々見られました
- (10) イベント出展・・・様々なイベントに参加、期をまたいだ塾生間の連携もありました



14期の卒塾生村岡美穂さん Radio SanQ に出演
パーソナリティは同じく3期生の林ともみさん

6. 今後の課題

(1) 課題

せと・しごと塾も第15期を終えることができました。
今後の課題としては、次のようなものが挙げられます。



わかやま創業スクールとの交流イベントの一コマ
(公益財団法人わかやま産業振興財団)

①物価高騰、生産性向上に向けての体制再構築

コロナが落ち着きを見せたものの、近年は燃料費や材料費の高騰や人材確保の困難など、中小企業を取り巻く環境が劇的に変化しています。そんな外部環境の変化の中で創業を検討していきます。より事業計画を念入りに検討して、お客様に支持される事業を構築しなければなりません。

②平日に参加出来ない人の問題

せと・しごと塾は平日昼間の開催です。仕事を休めないという方もいらっしゃるので、瀬戸商工会議所が実施する創業塾その他のセミナーで、平日夜間に参加出来るような場を提供しております。2021年度から、先述の「せと・創業くらぶ」もスタートして、事務局から随時起業に役立つ情報を配信しています。また、塾には通えないが、個別相談を継続的に利用する起業家もいます。起業家の交流の場となる「創業カフェ」も昨年度から再開されています。今後も多様な創業支援の受け皿を用意して、瀬戸で開業したいみなさまの応援をしていきたいと思っております。

③塾生が、より考え、行動するようになるための工夫

創業支援における重要な、常に抱えている課題です。過度に支援者に依存しないような手法を考える必要があります。なるべく塾生が主体的に考え、行動するように促しています。小さな成功体験を積み重ねていただき、徐々に自立していくような働きかけをしていきたいと考えています。

④他地域、他団体との交流

2024年1月に、初の県外支援機関との交流ということで、和歌山市のわかやま産業振興財団様が運営する「わかやま創業スクール」の受講生さんとの交流会が開催されました。「【いざ、和歌山へ】ともに学んで、感じて、考えて、和歌山の地域ビジネス起業家との交流会」を事務局が企画し、瀬戸市からも7名が参加しました。今後も、他団体との交流を通じて、支援の幅を広げていくことを目指します。

7. 最後に (2024年度、第16期に向けて)

せと・しごと塾も開講以来15期(1年中止で、トータル16年)が経過しました。立ち上げ当初から事務局のみなさまと、カリキュラムや募集方法、テキストなど、どのように実施するのが最適か、試行錯誤を重ねてきました。第2期は「起業の50ステップ」の原型となるテキストの作成、第3期は「達成リスト」のトライアル、第5期ではミニ講座の実施など、塾生のみなさまが何を求めている、どんなことに刺激を受けて行動するか、探り続けました。目次と索引付きで260ページとなったテキストは、2020年以降の新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンライン対応出来るように、PowerPoint形式で横長形式にするなど、大幅にリニューアルしました。(今回も膨大な時間をかけて制作しています)。第15期は、ChatGPTをはじめとするAI活用に関するコンテンツを収録しています。

また、第15期は、念願の懇親会が復活しました。せと・しごと塾の大きな魅力であった「塾生間の交流」を今後も徐々に再開し、卒塾生のみなさまが地域への愛着を感じながら、かつお互いに刺激を受けていくような環境を構築できればと思います。

せと・しごと塾では「創業ありき」で塾生のみなさまと接しているわけではありません。これは第1期から変わりません。塾生の想いを実現するためには、「会社員」という選択肢が最適であることもあり得るという考えも持ちながら、日々ご相談を受けております。その上で事業計画に対する助言をしております。特に、外部環境の変化が激しいこの時代、安易に創業を促すことにより、みなさまの生活を破壊してはなりません。あくまで本人の意思を尊重して、創業に関する助言を一人ひとりに合った形で実施できたらと考えています。

事務局、講師陣、卒塾生、それに直接または間接的に支援して下さっているみなさまのご尽力により、せと・しごと塾を15期続けることができました。今後も地域、そして社会全体を元気にする人たちの発掘し、その人たちの力を引き出す環境づくりのお手伝いをしたいと思います。関係者のみなさまにおかれましては、引き続きご協力のほど、お願い申し上げます。

外部環境の変化に対してしなやかに対応して、長く続く事業を作り上げてください。
みなさまが明るい未来を築けますように。

2024年3月

せと・しごと塾 塾長

小坂 英雄



8. 参考情報

1. せと・しごと塾の概要紹介(瀬戸市ホームページ)

<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2010111003016/>

2. せと・しごと塾リーフレット(瀬戸市ホームページ)

<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2010111003016/files/sigotojuku-leaflet.pdf>

3. せと・しごと塾10周年記念冊子(瀬戸市ホームページ)

<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2010111003016/files/setoshigotozyuku10th.pdf>

4. 瀬戸信用金庫

<http://www.setoshin.co.jp/>

5. 瀬戸商工会議所

<http://www.setocci.or.jp/>

6. 日本政策金融公庫

<https://www.jfc.go.jp/>

7. 愛知県信用保証協会

<https://www.cgc-aichi.or.jp/>



せと・しごと塾10周年記念冊子

この冊子は、約20名の塾生からなる「せと・しごと塾10周年記念ワーキンググループ」が企画から取材、編集まで行いました。カメラマン、コピーライター、デザイナーなどの塾生さんがそれぞれ得意とする技術を活かし、制作しました。

せと・しごと塾 第15期総括

2024年3月

作成 小坂 英雄(せと・しごと塾 塾長/有限会社起業経営研究所 代表取締役)

協力 瀬戸市/瀬戸商工会議所/瀬戸信用金庫/卒塾生・関係者のみなさま

©2006-2024 せと・しごと塾